SOMPO福祉財団 NEWs

Sompo Welfare Foundation

●自動車購入費助成　助成先を決定
●住民参加型福祉活動資金助成　助成先を決定
●ジェロントロジー研究助成　助成対象者を決定
●助成先団体からの報告、奨学金給付の決定、財団からのお知らせ

発行者　公益財団法人ＳＯＭＰＯ福祉財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1　損保ジャパン本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
https://www.sompo-wf.org/　Eメール：office@sompo-wf.org

2020年度 vol.2

2020.11.30発行

自動車購入費助成　助成先を決定

西日本地区を対象に、６月から７月にかけて公募したところ、62件の応募をいただきました。
障害者に対する福祉活動などを行う以下の10団体を対象に合計1,200万円の助成を決定しました。

2020年度　自動車購入費助成　助成先一覧

所在地	団　体　名	主　な　事　業
京 都 府	特定非営利活動法人 SEEDきょうと	摂食障害を専門的に支援する就労継続支援B型事業所「プティパ」を運営
大 阪 府	特定非営利活動法人 いちばん星	障害者と家族交流のイベント開催、障害児・者の兄弟姉妹の会と就労継続支援B型運営
鳥 取 県	特定非営利活動法人 西部ろうあ仲間サロン会	高齢聴覚障害者、手話を使う高齢ろう者の日中活動支援、移動支援事業
山 口 県	特定非営利活動法人 チャイルドハウスひなたぼっこ	障害児の個々の特性に合った放課後等デイサービス、日中一時支援、不登校児童支援
福 岡 県	特定非営利活動法人 ボクらの家	グループホーム、木工技術を活かし木製のお守りを納める就労継続支援Ａ型事業所の運営
熊 本 県	NPO法人 福ねこ舎	障害者が就労を通じ社会に参加し、地域の居場所づくりのためのカフェレストランを運営
鹿児島県	特定非営利活動法人 自立支援センター愛ら	クリーニング作業を通してコミュニケーションの向上を図る就労継続支援A型の運営
鹿児島県	特定非営利活動法人 奄美自立支援センターティダワークス	一般就労へ移行を目指すクリーニング作業をメインとした就労継続支援A型運営
沖 縄 県	特定非営利活動法人 まじゅんの会	オリジナル珈琲の企画、販売、PC作業、車両整備などの障害者就労支援B型事業所運営
沖 縄 県	特定非営利活動法人 ふぃーるど・ぱわー	就労継続支援B型事業所、共同生活援助事業（グループホーム）の運営









＜2019年度　助成団体からの報告＞

住民参加型福祉活動資金助成　助成先を決定

本年度は、新型コロナウィルス感染症に対しての支援活動も対象とし、募集地域を全国に拡大し６月に公募したところ、122件の応募をいただきました。
地域住民が主体となって、組織的かつ継続的にボランタリーな活動に取り組んでいるかなどを基準に、以下の23団体に総額608万円の助成を決定しました。

2020年度　住民参加型福祉活動資金助成　助成先一覧

所在地	団　体　名	助成する活動の名称
北 海 道	mamaconcierge Wednesday	おもちゃライブラリーで障害や病児の子への支援と社会環境作り
岩 手 県	**岩手奥州ダブルケアの会**	ダブルケア周知活動とダブルケアカフェ（想いの共有の場）の開催
宮 城 県	**ビックネットDDPC企画**	地域福祉の担い手育成と地域課題を解決するおおあみの孫の手活動
宮 城 県	一般社団法人 **ワタママスマイル**	石巻市東部地区の地域支え合い活動（地域食堂・よろず相談室）
東 京 都	特定非営利活動法人 **バイタル・プロジェクト**	オンラインミーティングアプリでの子ども居場所事業
東 京 都	comarch	空家を活用した多世代交流の小さな拠点（まちのえんがわ）事業
神奈川県	NPO法人 **子育ての輪Lei**	パソコンを活用した子どもの居場所「コミュニティハウスれいんち」
新 潟 県	**つばめ地域食堂プロジェクト**	新しい生活様式に沿った誰も置き去りにしない地域まるごと支援
長 野 県	**つなぐ ♡ HUB**	ボランティアによるオンライン学習支援「アルパカフェ」
岐 阜 県	特定非営利活動法人 **なじみのふるさと**	当事者による障害者・高齢者相談「なじみのふるさとネット」の開設
岐 阜 県	特定非営利活動法人 **飛騨高山わらべうたの会**	今こそ地域ぐるみの子育て支援体制確立を！（養成講座開催）
静 岡 県	NPO法人 **ゆめ・まち・ねっと**	まちの立ち寄り処「おもしろ荘」の新規立ち上げ（キッチン）
愛 知 県	**つつじが丘3ハウス**	世代混ざってつながる楽しい地域づくり（PC購入と住民学習会）
三 重 県	**旭が丘地区まちづくり協議会 「旭お助け隊」**	旭お助け隊（住民参加型在宅支援サービス）に関する機材購入
滋 賀 県	**朽木住民福祉協議会**	寄り合い処くっつきで地域コミュニティづくりの設備強化（トイレ）
大 阪 府	Share de たかつき	手作りランプをライトアップするごちゃまぜのコミュニティづくり
奈 良 県	**鳥見地区社会福祉協議会**	コロナ対策緊急プロジェクト「おふくわけランチ」（弁当配食）
島 根 県	**福祉互助組織 「神門地区手互の会」**	助け合い活動の手引きやチラシ作成する啓発活動
岡 山 県	特定非営利活動法人 **ママほっとサロン**	裏庭を整備し「リトルわんぱ～く」による地域ぐるみの子育て支援
広 島 県	**毘沙門台学区 自主防災会連合会**	コロナ禍における地域住民の防災力向上と防災組織の充実強化
福 岡 県	NPO法人 **飯倉・あったか支え隊**	地域主体の高齢者支援ネットワーク構築のための備品購入
沖 縄 県	**あかゆらぬ花会**	三世代交流から絆づくり（民家での憩いの場所を整備）
沖 縄 県	**宜野座村子育て支援てぃんの会**	子育て支援てぃんの会交流活動（座談会の開催）

ジェロントロジー研究助成　助成対象者を決定

全国を対象に４月から７月にかけ公募したところ、53件の応募をいただきました。高齢者を取り巻く諸問題の研究や解明に取り組む、以下の16名の対象者に助成を決定しました。

対　象　者	研　究　テ　ー　マ
越智　隆太 中央大学大学院文学研究科・大学院生	実験心理学的手法による“真の認知症当事者理解”に関する研究 －認知症介護者の心理的負担感の軽減を目指して－
菊地　亜華里 大阪大学大学院人間科学研究科	エイジズムの生起要因とその年齢差に関する研究 －Terror management theoryとSocial identity theoryの枠組みに着目して－
KIM Nahyun 神戸大学大学院・研究生	高齢者は、どのようなつながりを求め、どのようにつながりを形成していくのか。社会参加活動の場に参加する高齢者に焦点を当て、高齢期における新たな社会的つながりとしての弱い紐帯の可能性について追究する。
小島　みさお 国際医療福祉大学大学院医療福祉学専攻・研究生	男性家族介護者の排泄介護負担と福祉用具利用に関する実態調査 －介護支援専門員、福祉用具専門相談員、男性家族介護者へのアンケートから－
小松　亜弥音 国立長寿医療研究センター老年社会科学研究部社会福祉・地域包括ケア研究室・流動研究員	日本の在宅要介護高齢者を対象とした縦断調査のデータを用いて二次分析を行い、介護に要介護高齢者の意向が反映されている程度と、その後の身体機能・心理状態や在宅生活継続との関連について検討する。
税所　真也 東京大学高齢社会総合研究機構研究員兼東京大学大学院人文社会系研究科研究員	認知症高齢者が地域で最期まで暮らしていくために必要となる条件や要素について成年後見人による支援を切り口として描出する。とくに生活者の視点を重要視するNPO法人や生活協同組合による支援を分析対象とする。
櫻庭　唱子 千葉大学大学院・大学院生	高齢期における就労は要支援・要介護認定の発生を抑制するか －JAGES 2010-2016コホートデータを用いた縦断研究－
鈴木　みずえ 国立大学法人浜松医科大学医学部看護学科臨床看護学講座・教授	認知症高齢者は認知機能のレベルに合わせた支援を受けることでACPを可能とすることを前提として、認知症高齢者のACPをめざした意思決定支援尺度を開発し、信頼性・妥当性を検証する。
瀬戸　ひろえ 大阪大学人間科学研究科・大学院生	シミュレーションアプリによる介入を用いたランダム比較化試験を行うことにより、日本人の高齢者が人生会議に対して抱く心理的障壁の構造を量的に分析するとともに、人生会議普及に向けた方策を検討する。
多賀　努 東京都健康長寿医療センター研究所・非常勤研究員	認知症とともに暮らせる社会（DFC）を実現するために、認知機能の低下した高齢者の「尊厳」に関する語りを多義的・行動論的に分析・類型化し、日常の生活場面における支援のしかたを実装する。
中野　邦彦 島根大学地域包括ケア教育研究センター	コロナ下における中山間地域高齢者の行動様式の変容が健康に与える影響に関する研究
西尾　美登里 日本赤十字九州国際看護大学	救援力とは、困ったことが起きた際、周囲に助けを求める行動と定義する。現在までの研究で、男性の家族介護者は救援力が低い事が明らかになった。今回は介護経験のない高齢者男性の救援力を調査する。
長谷田　真帆 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻健康教育・社会学分野・特任助教	高齢者の死亡までの療養場所の推移のパターンおよび費用とその関連要因を明らかにする。それにより社会的に不利な立場でも、最期まで住み慣れた場所で過ごすための示唆を得る。
花里　陽子 獨協医科大学看護学部・教授	特別養護老人ホームにおける新人介護職の看取りの経験とその意味づけ
平井　和明 帝京大学福岡医療技術学部看護学科・准教授	新しい生活様式下における、在宅高齢者のソーシャルフレイルの実態調査と、予防活動の一環としてIoT通信機器を活用した介入の効果測定
吉村　舞 北海道大学大学院保健科学院	心不全患者と家族を対象とした在宅移行支援評価に関する研究 －患者と家族の当事者経験を基にした質評価指標の開発－



2018年度ジェロントロジー研究助成者の研究成果をまとめた「ジェロントロジー研究報告書No.14」を10月31日付で発行いたしました。
報告書をご希望の方は財団事務局にご連絡ください。

●2019年度住民参加型福祉活動資金助成　助成団体からの報告





<みっくす>
－みっくす出版社による兵庫県明石市大久保地域あそびマップづくり－

<大宮地区自治協議会>
－環境委員会活動・支え合い委員会活動・はぐくみ委員会活動－

















<ラーニングパーク>
－放課後等学習支援教室、宿題・各教科のお困りお助け教室－





<沖縄県聴覚障害児を持つ親の会>
－聴覚障害児のプログラミング教室－

<なかよしパソコンお絵かきクラブ>
－高齢者と子どもがパソコンを使ってお絵かき活動－

●介護福祉士養成のための奨学金支給対象者を決定

全国の介護福祉士を目指す専修学校生向けに募集をおこない、19名からの応募があり７名の対象者を決定しました。
また、本年度から全国の福祉系高等学校の生徒への給付を開始し、５名からの応募があり、合わせて12名の対象者に助成を決定しました。





＜実習の様子＞

財団からのお知らせ

●本年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、各助成の選考委員会はオンラインにて実施されました。

また、例年行っておりました各助成の贈呈式は中止とさせていただきます。



＜選考委員会の様子＞

●世界アルツハイマーデーおよび世界アルツハイマー月間の取り組みに対する後援をおこないました。
９月21日には損保ジャパン本社もライトアップされました。



